

第15回ワールドランナーズ・ジャパン新春ランニング感謝祭 開催



第15回 新春ランニング感謝祭にご参加頂き有難うございました！！

ランニング感謝祭走って頂いたランナーの皆さん、寒い中ランナーを支えて頂いたボランティア・スタッフの皆さん、「第15回 WRJ 新春ランニング感謝祭」にご参加頂き有難うございました。お蔭さまで、無事に皆さん全員で「WRJ 新春ランニング感謝祭」を創り上げることができました。様々な大会が林立するなか本大会を選んで頂いた皆さん、スケジュールを割いてスタッフとして支えて頂いた皆さん、本当に有難うございました。

天気予報では「一時雨」と心配して照る照る坊主君を背負うことにしたのですが、少しばらついた程度で激しくならず助かりました。照る照る坊主君には来年も頑張ってお返ししたいと思います。

今回はゲストランナーとして「ものまねアスリート芸人 M 高史」さんのハーフマラソンの出走、さすが速かったですね、余裕でトップ集団でした。ゴール時の某有名市民ランナーのパフォーマンスを始め、準備運動・物まねショー・あちらこちらでの写真撮影会と、いつもと違った雰囲気を作って頂きました。「某有名ランナー本人?」と誤解した方もおいでになったようですが、ウェアには「埼玉県庁」と点になっていないことにご注意ください。

今回のチャリティー579,249円(参加費から開催費用を引いた金額+寄付金)は、「地球上から慢性的な飢餓を終わらせる」、「日本に、走ることを通じて貢献するという新しい文化を創作し、根付かせ、拡大していく」というWRJの活動資金とさせていただきます。

5月18日(日)には「チャリティーリレー for AFRICA」を同じ多摩川・古市場競技場を拠点に開催します。ランナーとして、そしてスタッフとしてお会いできることを楽しみにしております。

第15回 WRJ 新春ランニング感謝祭
実行委員長 佐藤 高志(WRJ 理事)

～第15回 WRJ 新春ランニング感謝祭～

開催日 2014年2月2日(日) 古市場陸上競技場

	参加者	申し込者	収入
ハーフ	429人	606人	2,204,064円 寄付金 32,564円含む
10km	147人	202人	支出
5km	63人	75人	1,624,815円
当日参加：639人		参加申込み：883人	
スタッフボランティア：75人			
天候：曇り 気温：6.5℃ 湿度：65% 風：北の風 2.0m/s (気象庁データ 横浜方面の9時)			

639人の参加者が、世界の飢餓の終わりに貢献するという目的で走りました。今回も、参加費から大会経費を引いた金額と寄付金の合計(579,249円)をWRJ活動資金として使わせていただきます。

ものまねアスリート芸人 M高史さん

<http://ameblo.jp/monomane-athlete-mikami/>

元駒澤大学陸上部マネージャーとして活躍され、その後、知的障がい者施設での勤務を経て、2011年12月「ものまね芸人」として独立されました。

「ものまね」と「マラソン」が大好き「ものまねアスリート芸人」目指して日々精進中だそうです。

WRJのビジョンに共感され、ゲストランナーとして参加して頂きました。障がい者施設での残飯の量に疑問を持ち、さらにケニア人のランナーと親しくなったことで、ケニアでの現状を知り、特に食糧支援に興味を持っているとのことをお聞きしました。

準備体操、ハーフマラソン出場、ものまねライブ、抽選会と大活躍でした。

次は、彼のブログからの引用です。

「みんなでチャリティーリレー」～走って、貢献して～のコーナーにも登場させていただきました！世界では5歳以下の子どもが飢餓により6秒に1人の割合で命を落としているそうです。1週間で約10万人です。現代の日本で生活していると、ご飯が食べられなくて亡くなるって想像できないですよ・・・。マラソンが単に目標達成や自己実現のためだけでなく、飢餓に苦しむアフリカの子どもたちの食糧支援活動につながっていければ、素晴らしいことですね！自分はまだまだちっぽけな存在ですが、日々感謝、日々精進の気持ちで、自分に出来ることをこれからも続けていきたいです！！

マラソン大会ゲスト、イベント、ステージ、LIVE、余興、福祉施設訪問、ランニングコーチ、ランニングパートナー、体育家庭教師、肩こりの方のマッサージまで幅広く承ります。

お仕事のご依頼・ご相談は下記よりお願い致します。

<http://m-takashi-monomane-athlete.jimdo.com/>
宜しくお願い致します。



みんなでチャリティーリレーに参加



珍しい景品をいただきました！
ケニアのビール&ネパールのカレー
♪
ありがとうございますo(^▽^)o

松田 怜奈(受付及び競技場チーム)

今回の活動が、私にとっての初めてのボランティアでした。実際に、受付やゴールテープなど、色々なことをさせて頂きました。ゴールでランナーを待っているとき、笑顔で走ってくる姿や、辛そうだけど頑張っている姿を見て、とても感動しました。また、私たちが「お疲れさまでした」「ナイスラン！」と言うと「ありがとうございます」と答えてくれ、本当によかったなと思いました。

ボランティアを体験する前までは、あまり興味がなく、やりたいと思ったこともありませんでした。しかし、普段出来ない「大会を支える側」をやらせて頂き、人に貢献するボランティアの楽しさややりがいを感じました。また、人に貢献する大切さを学びました。今回は本当に貴重な体験となりました。

牧元 菜々子(受付及び競技場チーム)

私は受付とゴールテープのお手伝いをさせて頂きました。受付では最初慣れないこともあり戸惑いでしたが、ランナーの皆さんに分かりやすいように場所などの説明が出来るように頑張りました。ゴールテープのお仕事では、なるべく多くのランナーの皆さんにゴールテープを切って頂きたいと思いやりました。ゴールされたランナーの皆さんの達成感が伝わってきて気持ちが良かったです。

ボランティアをさせて頂いてすごく大変なこともありましたが、とても楽しく活動でき、良い経験になりました。



ゴールテープを持つ中学生たち

(松本 麻由香 受付及びWRJフース)

私がやらせて頂いたお仕事は受付と走り終わった方々に完走証を書いて頂くお手伝いをしました。一つひとつお仕事をやるごとに優しく細かい所まで教えて下さいました。最初、受付をやると知った時はびっくりしましたが、私が説明しないと来て下さるお客様はわからないんだと気づき、長々説明していた説明を大切なことを縮小してお話しようと思いました。最初のほうは多分理解しづらい説明をしてしまったと思うんです。それでもお

客さんは最後まで聞いて下さってありがたかったです。ボランティアをしてみたいと思う方が一つの場所に集まることがどんなに大切なことかがわかりました。本当に貴重な経験となりました。



テントの荷物置場

松宮 優花(テント管理・荷物管理)

私にとって、初めてのボランティアでした。私は荷物管理をし、ランナーさんに挨拶をしました。走り終えた後に「ありがとう」と言われて、嬉しかったです。

私には「飢餓を終わらせる」というのはスケールが大きすぎる目標と感じていたのですが、これだけのランナーさんやスタッフさんがいれば実現できるのだと思いました。たくさんを学べて、良かったです。

(増田 梨早 テント管理・荷物管理)

私は荷物管理のお手伝いをさせて頂きました。入口と出口に分かれていたのですが、番号札を持っていない方がいたり、出口から入って来られた方がいらっしゃっても混乱せずに対応することができました。普段はあまりこういう機会がなかったし、ボランティアも初めてで楽しかったです。そしてランナーの方にあいさつを返してもらえたときは、疲れているはずなのに返してもらえてうれしかったです。飢餓について考えることもできたとし、とても良い経験になりました。

大西 由里香(WRJフース)

私は初めてボランティア活動を体験させて頂きました。私はランナーの方々にチャイを配るというお手伝いをしました。温まるため走る前に飲まれた方には「頑張って下さい!」、走り終わった後に飲まれた方には「お疲れ様でした!」と言ってチャイを手渡し、その方々に「ありがとう!」と言われてすごく良い気分になりました。チャイを配ると同時に、「gooddo」といってネットから無料

で支援活動に貢献できるサイトの紹介もしました。私もそのサイトで参加したのですが、スタッフの方々が目標としていた 20,000 ポイントに達成したときはとても嬉しかったです。このような活動の先にある「飢餓をなくす」という WRJ の目的もこの経験を通して考えることができました。

私がお手伝いをさせてもらった WRJ ブースのスタッフの方々も本当にみんな優しくとても充実した 1 日を過ごさせていただいたので、またぜひワールドランナーズ・ジャパンのボランティア活動に参加したいと思いました。



WRJ ブースの中学生たち

内田 愛美(WRJブース)

ボランティアに参加するのは、初めての経験でした。どんなことをするのだろう...私にできるのかな...そんな感情を持ちながら当日を迎えました。行ってみると、募金を呼びかけると 1,000 円を片手に私のところに来てくださるご年配の方、小さな手に 100 円を握りしめて募金してくれる小さな子供、たくさんの方が募金してくださりました。チャイを配ると「おいしかったよ!」と声をかけてくださる方もたくさんいて、ボランティアに参加してよかったなと思いました。今回は学校の課題として参加しましたが、今度は自分から参加したいです。

村上 類(WRJブース)

学校の勉強の一つとして WRJ でのお手伝いをさせて頂きました。実は学校での事前学習では大変だなと思っていました。しかし実際参加してみると、これでいいのかわかりませんがとても楽しかったという感覚がずっと残っていて達成感もすごくありました。

じっとしているだけでは何も起きず何事もアクションを起こすことで始まると思ったのでこれからは積極的にボランティアしていこうと思います。

前村 樹美(競技場チーム)

走り終わった方にスポーツドリンクを配りまし

た。ボランティア活動は初めてで最初は何をしていいかわからなくて戸惑っていましたが、優しく教えて下さいました。自分の仕事に来るまではご飯を食べたり旗をつけたりしていましたが、いざ自分の仕事の番が回ってくるとすごく大変だったし渡せなかった人もいて少し悔しかったけど「はい、ありがとう」とか「七十何才完走したよ」って笑顔の方もいて、すごく気持ちのいい仕事できました。終わった後はすごく疲れたけど、やりがいのある仕事が出来たと思います!

初めてボランティアというものをやらせてもらい自分の将来にも役に立つような事も学べてプラスになる事ばかりですごく楽しい時間を過ごせたと思います!

他にもボランティアの皆様、ランナーの皆様ともお喋りが出来て楽しかったです!

初田 桃子(エイド)

私は給水所のお手伝いで、マラソンが始まってからは主に走者の応援をしました。初めは「しっかりやらなくては!」と緊張していましたが、周りの方々が優しく接して下さったため楽しんで参加することができました。

給水所のお手伝いが終わってから「gooddo」というものを教わり、日頃から私たちにできることがあるのだと知りました。このボランティアは最初から最後までとても楽しかったのでまた参加したいです。そして「gooddo」で毎日「応援する」を押して友達などにもたくさん広めて生きたいです。

中林 里彩(エイド)

初めてのボランティアでした。私は主に給水のお手伝いをさせて頂き、初めてのことで分からない所もあり大変でしたが周りの方々が優しく教えてくださり楽しく活動することができました。ランナーの方にお礼を言われた時はとても嬉しくやってよかったと心から思うことができました。本当に貴重な体験をさせて頂きました。



新春ランニング感謝祭 WRJ フースの報告

ケニアの首都ナイロビにあるキコンバラムに住む特に栄養失調と思われる子どもたちに対し、WRJ は神戸俊平先生(WRJ ナイロビ支部長)を通じて、週末の給食支援を行ってきました。しかし平日のスポンサーが支援中止となり、平日分の約40万円が不足するとの情報を得ましたので、「緊急支援」として不足分に少しでも貢献出来るよう、ブースに於いて、「声かけ募金」と「gooddo」と言う「クリック募金」による2通りのファンドレイズ活動を行いました。

ブース班の二人はバナナ配付所前での募金活動、「東京女学館 中学校・高等学校」の中学生たちはチャイを配る際に支援金を募りました。最初は緊張からか苦戦していましたが、試行錯誤しながら、より多くの人からご支援を頂戴出来るよう工夫し、後半は大きな成果へ繋げていました。チャイ担当の大野さんは去年の経験を活かして活躍してくれました。

今回は、ゲストランナーである M 高史さんもブースにて「タスキでつなぐ みんなでチャリティーリレー」を走りながら支援金を募って下さいました。そんな皆さんの頑張りにより、なんと過去最高の成果を成し遂げることが出来ました。

<結果>

- ・募金額 27,810 円
- ・gooddo 20,000 点超 (2,000 円相当)

ご支援くださったランナーの皆さま、そしてスタッフの皆さま、本当に有難うございました。

ブース班は、もっと楽しいコンテンツは出来ないのか？より多くの支援へ繋がる効果的な策はないのか？まだまだ暗中模索ではありますが、この延長線に何かあると信じて、今後も WRJ のミッションを叶える為に頑張っていきたいと思っております。
ブース&チャイ班 大淵 秀仁(WRJ 運営委員)



スタッフ・ボランティアの皆さん
有難うございました！！

東京女学館 中学校の授業参観に行ってきました

新春ランニング感謝祭には、社会貢献学習の一環で東京女学館中学3年生の11人がボランティアに参加して下さり、そしてその体験を授業で発表する機会があり、見学に行っていました。

1日だけの短い活動でしたが、彼女たちはその中で WRJ のことをよく理解し、パワーポイントを使った発表は私たちのミッションやその活動内容が簡潔に伝わるすばらしいものでした。ピンクのスタッフジャンパーを着用しての発表も素敵でした。他団体へ訪問した班の発表も国際協力活動を中学生がどう感じたのかを知る、いい体験となりました。

これらの発表の内容が、期末試験に出るとか、出ないとか？？試験という言葉に対する中学生の反応は、懐かしさを感じました(笑)。

矢崎 芽生(WRJ 理事)



加藤代表にインタビューする中学生たち

新春ランニング感謝祭スタッフ・ボランティア 75人の皆さん有難うございました (敬称略)

佐藤 高志、矢崎 芽生、加藤 典宇暉、三上 高史、久保 正義、大出 恭子、新川 菜生、松田 怜奈、牧元 菜々子、松本 麻由香、細貝 博、畑 麻里、山下 沙羅、多田 育代、稲垣 真理子、増島 達夫、細井 八千代、山崎 悟、山下 慶、松宮 優花、増田 梨早、大淵 秀仁、飯田 正一、大西 由里香、内田 愛美、村上 類、大野 みどり、美川 真弓、堀川 真由弥、岡林 あす香、鈴木 香子、杉浦 正宣、大塚 真弓、萩原 綾子、原田 芳明、杉本 正春、久留 義寿、増井 さゆみ、前村 樹美、杉浦 正宣、中田 彰生、田口 達、小泉 江里子、金子 良太、矢部 健一、徳永 京一、和田 基靖、武田 典子、米倉 有美、柴原 愛、大熊 千晶、山内 智英、青山 真也、初田 桃子、中林 里彩、平井 和宮、水津 真織、田中 英明、新川 正語、鈴木 経彦、加藤 悠太、幸加木 智博、梅田 昭典、柏 正俊、嶋永 誠二、佐藤 高正、小川 望、千葉 隆史、松田 敏郎、竹内 和彦、平井 和宮、串橋 徳昭、住吉 健、山田 知実、國廣 貴朗

第6回 ワールドランナーズ・ジャパン(WRJ)

チャリティーリレー for アフリカ 開催のお知らせ

仮装もOK! 元気に走って、募金も募って、アフリカへ貢献しよう!!

私たちは、走ることでケニア・タンザニアの現地プロジェクトをサポートします!

来る5月18日(日)、第6回 WRJ チャリティーリレー for AFRICA を開催します。チャリティーリレー for アフリカは、特定非営利活動法人ワールドランナーズ・ジャパン(WRJ)が主催する、走ることで世界の飢餓の終わりに貢献するという目的で開催されるリレー形式のランニング大会です。走ることで世界の飢餓の終わりに貢献するという目的のため、参加料から大会経費を引いた金額の80%をAFRICA 現地のプロジェクトに、残り20%を事務局運営費に貢献させて頂く予定です。

参加される方は、ぜひ自らのチャレンジを自分の周りの方々に伝えて頂き、そのチャレンジに共感される方から寄付を集めてご参加下さい。当日募金箱を設置いたしますので、そちらまでお持ち下さい。この寄付も参加費からの寄付と共に、現地プロジェクトの支援活動に貢献します。

昨年の第5回大会は、大会の趣旨に賛同してエントリー頂いた629人のランナー、67人のスタッフ・ボランティアにより、貢献金額は405,617円となりました。昨年以上に多くの方々が参加して下さいようお待ちしております。また、ボランティアとして大会の運営に携わって頂ける方も大募集しています。一人でも多くの方と一緒に大会を創っていくことが、走って、支えて、つながっていくことに結実すると願っています。

第6回 WRJ チャリティーリレー for AFRICA
実行委員長 和田 基靖(WRJ 理事)

日 時：2014年5月18日(日)9時 受付開始

場 所：川崎市古市場陸上競技場スタート、ゴール

種 目：リレー(5km×2~4人) 5km(個人) 3kmキッズ(小学生以下) 3km親子ラン(親と小学生以下の子ども)

参加費：リレー1チーム10,000円、5km2,500円、3kmキッズ1,000円、3km親子ラン2,000円

申込み締め切り：4月20日(日)

※詳細は、同封の案内をご覧頂くか <http://www.wrj.jp> をご覧下さい。尚、古市場陸上競技場には駐車場はありません。お車でのご来場はお控えください(近くにも駐車場はございません)。

当日のお手伝いをしていただくボランティアも募集いたします。

ボランティアにご興味のある方は info@wrj.jp へお問い合わせください。

昨年の様子

<仮装ランナーとキッズラン、仮装の移動監視>

<スタート・ゴールのメイン会場>



内田 弘之 WRJ 理事の紹介



ランニング感謝祭や、チャリティーリレー for AFRICA の賞品としてお馴染みの「天然酵母のパン」を焼いているのが内田理事です。2月13日雪の残る成田へ、お店を訪ねました。忙しい仕事の合間を縫って質問に答えてくれました。もちろん焼き立ての美味しいパン(メチャウマ)とコーヒーを御馳走になりながら奥さんの稲さんを交えての温かいひと時でした。

内田理事と WRJ の出会いは、'96年、大学1年の春、WRJ のアフリカプロジェクトツアーを紹介され参加を決めたのがきっかけでした。そのことが言ってみれば今のパン職人に繋がる事に成るとは、誰も気付いておりませんでした。アフリカには3年連続で参加し、タンザニアで2回マウントメルーマラソンを走っています。WRJ の活動に参加する中で知り合った「日本外国語専門学校国際ボランティヤ科」の皆さんの話を聞き2年で大学を中退「日本外国語専門学校」に入学、同級生だったのが稲さん。稲さんも学校カリキュラムとして WRJ のイベントスタッフで活動に参加してくれています。また、内田理事は、WRJ 史上受け入れた唯一のインターン生です。'99年アフリカプロジェクト報告書は、その時の労作です。

学校卒業後、福祉施設に勤め稲さんと結婚。一度沖縄に住んでみたいと言う二人の思いを形にし、稲さんの名付け親の居る沖縄へ移住。マンゴー農園で働きながら自分のやりたいことを探すも、どれもピンとこず。そんな時、農園主が出してくれた天然酵母のパンの美味しさに出会い「これかもしれない!」と独学で始めたのがパン作りでした。お子さんも生まれどんどん貯金が減ってゆき自分でやらねばと本気で後ろの扉を閉め「必ず毎日パン生地を捏ねる」事を自分に課した。この時期奥さんとお子さんの存在が大きなつかい棒だったという。リヤカーでのパンの引き売りの後、プロのお店で一年半修行、稲さんの実家のある成田に戻ってお店を持ち5年「天然酵母やオーガニック素材を売りにするのではなく美味しいパンを提供すること」を目標に国産の自然な素材をベースにやってみようと思いついた。二人でした。内田理事が WRJ で掴んだものは、自分もやれば出来るという体験だと言うこと、とにかくパンを作る喜びが伝わってくる笑顔でした。



パンの注文はこちら <http://tane-tane.com>
加藤 典宇暉(WRJ 代表理事)

今、AFRICA現地のプロジェクトは

ケニヤ：ナイロビのキコンバスラム、プムワニ
給食プロジェクト

今年度の週末分の給食経費 15 万円を送金したところです。感謝祭のブースの呼びかけにもありますように平日の給食を支援していた NGO が撤退したためその分の支援(40 万円)が必要とされています。スポンサーシップ、御寄付、書損葉書や金券の提供等様々な形の御支援をお願いします。



タンザニア：singiland 中等学校の建設工事

学校近くの水場まで来ていた給水管が破損し水が使えず水不足のため現在工事は止まっています。工事再開が待たれるところです。

Green Climate Marathon Tanzania

現在現地のスポンサー企業を探しているところです。開催は6月、ハーフマラソンがメインレースとなります。

奨学金プロジェクトを準備中

貧しい農村の女性の進学をサポートしコミュニティの中での女性のリーダーシップをサポートします。一人の少女が1年間学校に通うために5万円掛かります。中学4年高等学校2年合計6年間、大学は奨学金が出るということです。高卒まで30万円です。一人の少女と地域社会の未来に違いを創れるプロジェクトです。2015年1月の新学期少女二人からのスタートを計画中です。スポンサーの募集等詳細は決定次第ニュースレター、HP等でお知らせしてゆきます。

AFRICA プロジェクトツアー

当初 Green Climate Marathon 開催と singiland 中等学校の竣工に合わせ6月訪問を予定しておりましたが、マラソン開催と工事の進捗状況について現在照会中の WRTanzania からの詳細情報を待つて確定したいと考えています。

加藤 典宇暉(WRJ 代表理事)

定期ランのご案内

WRJでは、ランナー同士の交流の場として、毎月第二日曜日に定期ランを開催しています。場所は主に皇居周回ランニングコース（1周 5km）で、竹橋をスタートして反時計回りに走ります。14時40分神田駅北口（新宿・上野寄り）の改札口前に集合。直接行く人は15時30分に竹橋駅・和気清麻呂銅像前集合。15時40分から17時までの間に1~3周を走ります。1周目はグループ走、2周目以降は自由走です。18時から懇親会を開催しています。（主に「白木屋」・神田西口駅前店：03-3251-9288 予定、20時終了）これから走ろう、花の東京の真ん中を走ってみたいと思っている人、一度参加してみませんか？

○定期ラン連絡用アドレス teiki-run@wrj.jp
（定期ランマネージャー佐藤、和田、鈴木理事に届きます）※連絡が取れない場合はWRJ事務局まで（044-949-1068 加藤方）

◎ 次回：3月9日(日) (第238回)
集合：14時40分 JR神田駅北口 改札口前
15時30分竹橋駅・和気清麻呂銅像前

4月の定期ランは、皇居周回コースが観桜期のため、多摩川で開催します。

集合場所と集合時間にご注意願います。

◎ 次々回：4月13日(日) (第239回)
集合：11時 JR南武線・矢川駅 改札口前
国立温泉・湯楽の里をベースにします。
（矢川駅から温泉まで約1.2km）

<http://www.yurakirari.com/yuranosato/tenpo/kunitachi.html>

12時前から13時過ぎまで走る。

上流方面(多摩大橋位まで?)

13時半か14時頃から川原で青空宴会。

(2時間くらいでしょうか)

不定期ランコース 大募集

定期ランの番外編としてスタートした「不定期ラン」は、皆さまから走りたいコースや打ち上げ場所を常時募集しています。次は、3月か4月の最終週にできるかなあと、考えています。

「沼津の魚河岸、旬の魚で一杯」とか、「月島のもんじゃ焼きを腹一杯」とか、「蒲田の天使の羽根つき餃子を堪能」とか、これから具体化しますので下記のアドレスにご意見をお寄せ下さい。

定期ラン連絡用アドレス teiki-run@wrj.jp
（定期ランマネージャー佐藤・和田・鈴木理事に届きます）

誰でも簡単に無料で支援できる！

新しいボランティアのカタチ！

gooddo内のワールドランナーズ・ジャパンのページに行き、「応援する！」ボタンをクリックするだけでポイントが貯まり、無料で支援することができます。会員登録なども一切不要です！
ぜひ毎日ご協力ください。



毎日のクリックで応援する 20~1000ポイント

応援する！ボタンをクリックするだけでポイントが貯まり、「ワールドランナーズ・ジャパン」を無料で支援することができます。(毎月最大30,000円)

応援する！

<http://gooddo.jp/gd/group/wrj/>



編集後記

2月2日のランニング感謝祭、お蔭様で無事に終了することができました。2週続けての週末の大雪を考えると、ランニングの神様は、WRJの味方でしたね。勿論、佐藤実行委員長が背負った「てるてる坊主君」にも感謝です。ランニング感謝祭にボランティアとして参加の「東京女学館 中学校・高等学校」の中学3年生はNGOを訪ねて直接話を聞き、その結果をクラスで発表するというカリキュラムが組まれています。2012年、興味のあるNGOを探しにグローバルフェスタ(GF)の会場を訪れ、目に留まったのがWRJブースの「タスキでつなぐ、みんなでチャリティーリレー」でした。昨年もGFでWRJ活動に興味を持ち、体験学習の機会として2年続けて大活躍してくれています。

今号から加藤代表がWRJ理事・監事を訪ねるインタビュー記事を掲載します。編集子が参加した'97年のアフリカプロジェクトで初めて内田理事(ウッチー)に出会いました。編集子は'99年のアフリカプロジェクトでリーダーを務めました。報告書はウッチーを中心に若手メンバーで纏め上げたものでした。改めて報告書を眺めていますが、ウッチーの若い頃と今を比べるといい感じで年を重ねてきたのだと思いました。編集子は、彼と酒を酌み交わし、いろいろなことを語り合いたいと思いました。

さて次号で訪ねるのはどなたでしょうか？

(徳永 京一)